

なぜ建設会社がSNSを活用すべきか？

弊社は、かつてはブラック企業と呼ばれていましたが、SNSを活用し新卒採用に力を入れる事で大きく変貌を遂げました。

建設業界は、他の業界と比べてIT化が遅れていると言われてきましたが、近年ではSNSの普及により、企業のあり方も大きく変化しています。

建設会社においても、SNSを活用する事で、以下のメリットが期待できます。

今回は、SNS活用の具体的な方法について解説します。

企業イメージの向上: 自社の技術力や実績、社員の活躍などを発信する事で、企業イメージを向上させ、顧客からの信頼を獲得する事ができます。

人材採用への貢献: 会社の魅力を発信する事で、優秀な人材の採用に繋がり、若年層へのアプローチも可能です。

地域との連携強化: 地域の活動への参加を発信する事で、地域住民とのコミュニケーションを深め、地域社会への貢献を示す事ができます。

顧客とのコミュニケーション強化: 顧客からの質問に迅速に対応したり、施工中の様子を発信する事で、顧客満足度を高める事ができます。

建設会社に合ったSNSの選び方

建設会社が活用するSNSを選ぶ際は、以下の点を考慮しましょう。

ターゲット層: 採用したい層、顧客層に合わせてSNSを選ぶ

発信したい内容: 写真や動画が中心なのか、テキストが中心なのか

運用できる範囲: どれ位の頻度で投稿できるのか、どの位の労力を掛けられるのか一般的に、建設会社が活用しやすいSNSとしては、以下が挙げられます。

Instagram: 施工中の写真や動画完成後の物件などを視覚的に美しく発信できる

X: 短い文章で手軽に情報を発信できる

Facebook: 企業ページを作成し、ファンとコミュニケーションをとる

YouTube: 施工手順や会社の紹介動画などを公開する

効果的な情報発信のポイント

ビジュアル重視: 写真や動画を多用し、視覚的に訴求力のあるコンテンツを作成する

定期的な投稿: 定期的に投稿する事で、フォロワーの目に触れる機会を増やす

#タグの活用: 関連性の高い#タグをつける事で、多くの人に情報を届ける

社員の活用: 社員の生の声を発信する事で、企業の人間味を出す

社員インタビュー: 社員の想いを発信

情報発信の注意点

安全対策: 現場の写真を公開する際は、安全対策に配慮し、個人情報が出ないように注意する

競合他社の情報: 他の会社の悪口や誹謗中傷は避ける

炎上対策: 炎上した場合の対応マニュアルを作成しておく

まとめ

SNSを活用する事で、建設会社は自社の魅力を発信し、地域社会との繋がりを深める事ができます。

しかし、効果的な情報発信を行うためには、計画的な運用と継続的な努力が不可欠です。次回は現場でも使える建設業でのDX活用事例をお届けします。（掲載は4月下旬ごろの予定です。）